

「ぜったい 勝つ！」

和田 丈太郎（わだ じょうたろう）4歳

幼保連携型認定こども園むつみ保育園（東北教区）

画面中央は自分でしようか。力一杯走ったという思いが、膝を曲げて後ろに蹴り上げている足の表現に表れています。ひとつひとつ国のデザインを思い出して描いている頭上の万国旗や、基底線になる地面の1本線からは、この時期に見られる空間認識の発達が読み取れます。さらに、目の向き、口角のあがった笑顔の口など、題名の「ぜったい 勝つ！」という気持ちが伝わってきます。最初に白色のパス1本で描いたので、思いが滞ることなく表現できたのでしょう。

運動会のような行事は、もう十分楽しんだ後の事なので、ただ「描きましよう」と促しても自分から進んで描きたいとはなかなか思えず、描かされた絵になりがちです。しかし、導入の工夫で、たとえば「次は〇〇を頑張りたい！」といった気持ちを引き出せたら、今一度、画用紙の上で運動会を楽しむことができます。丈太郎さんは「ぜったい 勝つ！」と願った気持ちを持って、今一度画用紙の中でリレーに挑んで楽しんでいのです。

●表紙のことば●



おお はし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学